

【0047・原子力資料情報室寄贈視聴覚資料】

資料群概要（フォンドレベルの情報）

作成主体：原子力資料情報室

資料群名称：原子力資料情報室寄贈視聴覚資料

年代：1978年—2010年

要約：原子力資料情報室で収集・作成してきた原発・エネルギー問題に関する集会・研究会・放送番組等の映像からなる。

総量：13箱（媒体別でVHS 553本、DVD 16本、CD 2本、計 571本）

受入番号：0047

言語：日本語・英語・ドイツ語・フランス語

資料群の管理と利用に関する情報

出所：

原子力資料情報室寄贈視聴覚資料（以下、本資料群と略記）は、2012年2月13日に認定特定非営利活動法人（NPO 法人）原子力資料情報室（以下、原子力資料情報室）より環境アーカイブズ資料公開室に「寄贈」されたものである。本資料群は原子力資料情報室設立の1975年9月以降、市民の立場から調査・研究を行い、そこから得られた情報を、市民活動に役立つよう提供する目的で収集されてきた、原子力利用やエネルギー問題に関する映像資料からなっている。これらの資料は日本の原子力政策を市民の立場からチェックし、国際的な情報を提供することに役立てられてきた。

他機関所蔵情報：

特になし

関連する資料群：

たんぼぼ舎反原発映像資料（0014）では、本資料群同様に原発・エネルギー問題に関する映像資料が収集されており、同一資料も複数見られる。

利用の形態（マイクロコピー、デジタルコピーで利用等）：

デジタルコピー（DVD）での閲覧

整理方法についての情報：

ダンボール箱13箱で搬入された。2013年2月より、1媒体1ファイルを基本としてファイル目録を作成した。ファイル目録は2013年7月に作成完了し、2015年2月よ

りデジタル化作業が行われている。2017年6月までにDVD化の完了した208ファイル（ファイルNo. 1-166、216-245、528-539）の目録が公開されており、残り363ファイルNo. 167-215、246-527、540-571にかんしては、現在デジタル化およびDVD化作業中であり、作業が完了し視聴可能になり次第、順次公開する予定である。

引用する場合の表記方法：

原子力資料情報室寄贈視聴覚資料、受入番号0047、ファイル番号0001、法政大学大原社会問題研究所環境アーカイブズ

利用制限：

利用目的は報道・批評・研究および教育利用とし、環境アーカイブズの視聴覚ブース内での視聴か、学内での授業利用が望まれる。著作権および個人情報、プライバシー保護の観点から、利用が制限される資料が一部存在する。詳細については職員に問い合わせること。

作成者の権利について：

資料群全体は大原社会問題研究所環境アーカイブズが所有するが、著作権は個々の資料ごとに異なる。

作成主体についての情報：

原子力資料情報室は、原子力に頼らない社会を実現するために活動している団体であり、原子力に関係した産業界から独立した市民の立場で、原子力利用の危険性に関するいろいろな資料を集め、調査・研究を行っている。さらに、それらの活動により得られた情報を、世界中の市民の活動に役立つようにさまざまな形で提供し、政策提言も行っている。

英語名「Citizens' Nuclear Information Center」の頭文字をとり、CNICとも呼ばれる。

原子力資料情報室は1975年に設立され、99年にはNPO法人、さらに2010年5月には国税庁より認定NPOとして認証された。

1979年のスリーマイル島原発事故、1986年のチェルノブイリ原発事故、1999年の東海村JCO臨界事故など、国内外の原子力関連施設における事故が発生するたび、原子力資料情報室は市民への情報提供の役割を果たしてきた。

さらに、原子力資料情報室は、情報を分析し市民に提供するのみならず、原子力に反対する国際的な市民運動の担い手でもあり続けてきた。1991年の「国際プルトニウム会議」（グリーンピース・インターナショナルとの共催）や、1997年の「国際MOX燃料評価プロジェクト（IMA）」の最終報告書、*Comprehensive Social Impact Assessment of MOX*

Use in Light Water Reactors の発行など、国内外の団体と連携した活動も数多く行っている。また、98年より毎年発行している『原子力市民年鑑』（96-97年には『脱原発年鑑』として発行）では、国内の原子力施設や原子力政策の動向について、詳細なデータを掲載し、解説を加えている。

2011年の福島第一原発事故以降、原子力発電の安全性や経済合理性、さらにはこれまでの日本の原子力政策の決定プロセスに対する関心の高まりを背景に、日本の原子力政策をチェックする機能や国際的な情報センターとしての社会的役割もまた大きなものとなっている。

原子力資料情報室ホームページ <http://www.enic.jp/>

資料群の内容：

本資料群には、原子力や自然エネルギーに関する集会や研究会、シンポジウムや、関連するテレビ番組や映画等の映像が含まれる。原子力資料情報室の分類によれば、映像の内容は下記の通りとなっている。環境アーカイブズでも、その分類を踏襲して整理を行っている。

(表) 原子力資料情報室の映像資料内容別本数

シリーズ名	ファイル数	シリーズ名	ファイル数
気候変動・自然エネルギー	82	海外プルトニウム	11
もんじゅ	77	新潟・MOX	11
マスコミ報道	45	輸送	11
核のゴミ	36	六ヶ所 廃棄物	11
チェルノブイリ	31	海外	11
原子力情報資料室関連	30	海外 新潟	10
原子力安全問題ゼミ	24	再処理 海外	10
六ヶ所 再処理	22		
プルサーマル	21		
円卓会議	12	その他・未分類	105
高木仁三郎	11	計	571

*原子力資料情報室による分類を元に作成

資料群概要作成者*：元 R・A 西田善行、R・A 藤田理雄

*本資料群の整理は、2012年度より西田が行い、資料群概要も大部分は西田が作成した。

本文は、西田が作成したものに、藤田が加筆修正を施したものである。